



夢・いっぱい

第3号

令和2年5月25日

○ 2020年度の経営方針：今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい学校づくり
～ 開かれた学校において、「愛宕の子」として地域と共に育てる ～

学校再開後の様子

～ 感染症を防ぎ、安心して学習できる環境づくり ～

校長 原田 剛

学校の再開後、2週間が過ぎ、少しずつ学校生活が平常に戻りつつあります。しかし、感染症防止の取組は引き続き行っていく必要があります。毎朝の検温やマスクの着用など、今後ともご協力をお願いします。

さて、学校では、3つの密を避けるような過ごし方に気をつけるとともに、きめ細かな手洗いを徹底しています。給食の前後はもちろんのこと、休み時間から教室に戻った時なども、手洗いを忘れないように声をかけています。また、給食の時は、一人ひとりの体質を考慮したうえでアルコール消毒をするとともに、静かに同じ方向を向いて食べるようにしています。

子どもたちもこうした環境に慣れ、いわゆる「新しい生活様式」が定着していくものと思われます。こうした習慣は、自分の身を守るだけでなく、周りの友だちをも守ることにつながるという考え方を忘れないようにしたいものです。



ていねいに手を洗う子ども



給食前のアルコール消毒



みんなで前を向いて食べる給食

☆ 学習環境を整える

子どもが学習する場所は、教室だけではありません。学校のあらゆる場所が学習スペースになれば、子どもも興味をもって学習することが多くなるはずですよ。

先日、正面玄関横の池に張ってある鳥よけのネットを日中だけ外すことにしました。これまで、見向きもしなかった子どもが、池に集まり、いろいろな話をしています。実際に生き物に触れなくては、生き物を大切にできる気持ちは育ちません。

この池の周りで、いろいろな物語が生まれるといいなと思っています。



池の鯉を見て話をする子ども

☆ ICTを活用した新しい学び

6年生の国語科で、タブレットPCを活用した朗読の授業が行われていました。

学校が休校中、愛宕小学校でも、インターネット環境を活用した遠隔授業の可能性を検討したところです。その際に用いたツールを使い、朗読を聞き合うという授業が行われていました。グループで朗読の様子を撮影、保存することで、他のタブレットPCで再生することができます。（朗読が上手な友だちは見つかったでしょうか？）

休校で授業ができないというピンチを新たな授業づくりのチャンスととらえ、私たちもチャレンジしていきます。



友だちの朗読をT P Cで撮影する子ども